

令和4年度学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査の結果等について

I 令和4年度学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査の結果について

1 県立学校における体罰調査

学校における体罰根絶に向けた取組の一環として、「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」を実施した。

調査の目的

- 県立学校における体罰の実態を把握し、具体的な事案に対しては適切な対応を講ずることで、児童・生徒が安全かつ安心して学校生活を送ることができる環境の整備に努める。
- 各学校において、教職員間の体罰に関する認識を深め、体罰の根絶に向けた取組を更に推進する。

(1) 調査対象等

- ア 調査対象者は、高等学校138校、中等教育学校2校、特別支援学校29校のすべての児童・生徒及び保護者、教職員等(外部指導者を含む)
- イ 調査対象人数は、児童・生徒が約120,700人、教職員等が約15,900人
- ウ 対象となる体罰は、学校生活全般における教職員等による体罰

(2) 調査対象期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(3) 調査方法

- ア 児童・生徒及び保護者は、パソコン、スマートフォン等から回答するか、学校で配付する回答用紙を県教育委員会に郵送(学校名、課程、学年を原則として回答(無記名回答は可))
- イ 教職員等は、回答用紙に記名の上で校長に提出

(4) 調査の結果

調査によって把握した体罰事案は1件(高等学校)であった。

概要

- 当該教諭は、ホームルームの時間中、私語をしていた生徒を注意する際、生徒の左足大腿横部分を右足脛で蹴った。当該生徒に負傷はなかった。

2 市町村立学校における体罰調査

政令3市を除く県内のすべての市町村教育委員会が、県の実施要項を参考に、各々の方法により体罰の実態把握調査を実施した。

(1) 調査対象等

- ア 調査対象者は、小学校327校、中学校175校、高等学校1校、特別支援学校3校のすべての児童・生徒及び保護者、教職員等
- イ 調査対象人数は、児童・生徒が約230,100人、教職員等が約17,900人
- ウ 対象となる体罰は、学校生活全般における教職員等による体罰

(2) 調査対象期間

令和4年4月1日から市町村ごとに定めた調査の回答記入日まで

(3) 調査の結果

調査によって把握した体罰事案はなかった。(0件)

II 令和4年度の体罰の状況

令和4年度の体罰は、前述の体罰調査によって把握した事案（県立学校1件）を加え、7件（県立学校4件 + 市町村立学校3件）であった。

1 県立学校

校種 場面	4年度				(参考)	
	高等学校	中等教育	特別支援	合計	3年度	2年度
授業中	1	0	0	1	4 (2)	5
部活動中	1	0	0	1	1	3 (2)
特別活動中 (部活動以外)	1 (1)	0	0	1 (1)	0	0
その他 (昼休み・放課後等)	0	0	1	1	0	1
合計	3 (1)	0	1	4 (1)	5 (2)	9 (2)

※ ()数字は体罰調査で把握した件数(内数)

※ 過年度分は校種の合計値

2 市町村立学校

校種 場面	4年度				(参考)	
	小学校	中学校	高等学校 特別支援	合計	3年度	2年度
授業中	2	0	0	2	1	0
部活動中	0	0	0	0	2	1
特別活動中 (部活動以外)	0	0	0	0	1	0
その他 (昼休み・放課後等)	0	1	0	1	0	3
合計	2	1	0	3	4	4

※ 過年度分は校種の合計値

3 総合計（県立学校＋市町村立学校）

年度 場面	4年度	(参考)	
		3年度	2年度
授業中	3	5 (2)	5
部活動中	1	3	4 (2)
特別活動中 (部活動以外)	1 (1)	1	0
その他 (昼休み・放課後等)	2	0	4
合計	7 (1)	9 (2)	13 (2)

※ ()数字は体罰調査で把握した件数(内数)

Ⅲ 総括

1 県立学校

- 授業中における体罰は前年度の4件から1件に減少した。一方、特別活動中における体罰は0件から1件に、その他（昼休み・放課後等）における体罰は0件から1件に増加した。
- 調査によって把握した体罰は1件（高等学校）であり、ホームルームの時間中、当該教諭が私語をしていた生徒を注意する際、指導の気持ちが強まり、感情的になって生徒の左足を蹴ったという事案であった。

2 市町村立学校

- 部活動中における体罰は前年度の2件から0件に、特別活動中における体罰は1件から0件に減少した。一方、授業中における体罰は1件から2件に、その他（昼休み・放課後等）における体罰は0件から1件に増加した。

Ⅳ 今後の対応

令和4年度の体罰は7件となり、今後も体罰の根絶に向けて、継続的に取組を進める必要がある。

各学校では、生徒指導や部活動において、次のとおり、体罰を認めない学校風土づくりに努める。

1 体罰の未然防止のための環境整備

- (1) 複数の教職員間で相互チェックが働く体制の整備
- (2) 管理職による校内の定期的な巡視
- (3) 児童・生徒へ校内における相談窓口の周知

2 体罰防止リーフレットの活用の促進

「体罰防止ガイドライン」のエッセンスを抜粋し、過去の事例を掲載した体罰防止リーフレットを各所属における研修で活用する。

3 人権教育研修を実施

児童・生徒の人権を尊重した指導及び教職員の指導力の向上のため、教職員の人権感覚を高める研修を実施（管理職以外の教職員からも募集）する。

4 部活動指導等における体罰の防止

児童・生徒に対する体罰を根絶するという考えのもと、学校における不祥事防止研修などの各種研修等の場を活用し、体罰の防止に係る教職員の意識啓発を図る。

また、部活動インストラクター等の外部人材による体罰を防止するため、生徒と接触のある外部人材等に対して、生徒対応における留意事項の定期的な周知を行う。

5 体罰の根絶に向けた教育局と学校現場の連携

教育局と学校現場が緊密に連携し、体罰及びその疑いがあった場合には、校長等に対し、電話による確認や相談を実施し、必要に応じて訪問指導等を行う。

児童・生徒及び保護者のみなさまへ

神奈川県教育委員会

令和4年度学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査のお願い

このたび、県教育委員会では、令和4年度学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査を実施します。

この調査は、県立学校における教職員などによる体罰の防止に向けた取組を進めることを目的に実施するもので、児童・生徒のみなさんから、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に発生した体罰の被害の状況などをお聞きして、今後の取組に役立てていきたいと考えていますので、ご協力ください。

児童・生徒のみなさんは、体罰を受けたり、見たりしたことがある場合には、次の回答方法により、その内容を回答してください。保護者の方と一緒に回答してもかまいません。

回答内容は、調査の目的以外では利用しません。また、回答された個人情報については、秘密を守りますが、実際にあった体罰にしっかりと対応するため、場合によっては、学校を通じてお話を聞きするなどご協力をお願いすることがあります。

なお、保護者のみなさまにつきましても、体罰について県教育委員会に伝えたいことがありましたら、同様の回答方法でご意見をお寄せいただくことができます。

【回答方法】

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に体罰を受けたり、見たりしたことがある場合は、パソコン、スマートフォンなどのインターネットに接続可能な機器から、次に記載したURL又は二次元コードを使って回答することができます。

また、学校で「回答用紙」と返信用封筒が配付された場合は、それを使って郵送で回答することもできますが、同じ回答内容については、どちらか一つの方法で回答してください。

回答は令和5年3月31日（金）までですが、事案に迅速に対応するため、できるだけ令和5年1月13日（金）までに回答してください。

郵送で回答する場合、返信用封筒には回答用紙のみを入れ、ポストに入れてください。

体罰を受けたり、見たりしたことがない場合は、回答する必要はありません。

○直接リンクURL

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=41862

○スマートフォン用二次元コード



（裏面に続く）

- ※ 体罰に関して、緊急の対応が必要な場合は、至急学校にご相談ください。
また、県立総合教育センターでも相談を受け付けています。

■ 『体罰相談窓口』

・電話相談 平日 8:30～12:00、13:00～17:15

※年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません。

電話 (0466)81-1967

・電子メールによる相談 ※返信に数日かかる場合があります。

県教育委員会ホームページ「各種相談」の「体罰相談窓口」のページからアクセスしてください。

■ 『24時間子どもSOSダイヤル』

(24時間・365日受付)

電話 0120-0-78310 また (0466)81-8111 (直通)

【本調査の問合せ先】

神奈川県教育委員会教育局支援部学校支援課

電話 (045)210-8230 (直通)

れいわ ねんど がっこうせいかつぜんばん たいぼつ じつたいはあく かん ちょうさ かいとうようし
 「令和4年度 学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」回答用紙

ちょうさ かいとう き
 ◎ 調査に回答するときに気をつけてほしいこと

- ※ 令和4年4月1日からこれまでの学校生活の中で、自分自身が体罰を受けたり、他の児童・生徒が体罰を受けたのを見たりした場合に、答えられる範囲で回答してください。
- ※ 体罰を受けたり、見たりしたことがない場合は、回答する必要はありません。
- ※ 根拠のない噂や悪口ではなく、事実を記入してください。
- ※ 回答は、令和5年3月31日（金）まで受け付けますが、できるだけ令和5年1月13日（金）までに回答してください。
- ※ 回答用紙への記入が終わったら、一緒に配られた封筒を使ってポストに入れてください。封筒は、「神奈川県教育委員会教育 局行政課人権教育グループ」に届きます。なお、この封筒は、同時に行われている「セクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査」の回答と共用になります。
- ※ 回答方法は、あてはまる記号（アからク）に○をつけるか、欄に記入してください。
- ※ 【必須回答】と書いてある項目には必ず回答してください。
- ※ 保護者のみなさまは、体罰について県教育委員会に伝えたいことがありましたら、質問14の回答欄に記入してください。

しつもん
 【質問1】

かいとう かつ かいとう ひつすかいとう
 回答している方は、どちらですか。【必須回答】

ア：児童・生徒 イ：保護者 ⇒ イの場合は質問14に進んでください。

しつもん
 【質問2】

がっこうせいかつ たいぼつ つぎ なか えら ふくすうかいとう
 学校生活での体罰について、次の中からあてはまるものを選んでください。（ア、イの複数回答ができます）【必須回答】

ア：自分自身が体罰を受けた イ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た

しつもん
 【質問3】

がっこうめい きにゆう ひつすかいとう
 あなたの学校名を記入してください。【必須回答】

しつもん
 【質問4】

がっこう かに えら ひつすかいとう
 あなたの学校の課程などを選んでください。【必須回答】

こうとうがっこう ばあい 【高等学校の場合】	ア：全日制	イ：定時制	ウ：通信制
ちゅうとうきょういっくがっこう ばあい 【中等教育学校の場合】	エ：前期課程	オ：後期課程	
とくべつしえんがっこう ばあい 【特別支援学校の場合】	カ：小学部	キ：中学部	ク：高等部

しつもん
【質問5】

あなたの学年を記入してください。〔必須回答〕

ねんせい
年生

しつもん
【質問6】

あなたの名前を記入してください。

しつもん
【質問7】

あなたの性別を選んでください。

ア：男　　イ：女

しつもん
【質問8】

誰から体罰を受けました（受けたのを見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。

〔必須回答〕

- ア：教科担当の先生　　イ：学級担任の先生
ウ：部活動の顧問の先生　　エ：部活動の外部指導者（顧問の先生以外）
オ：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問9】

どのような体罰を受けました（見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。

（複数回答ができます）〔必須回答〕

- ア：素手でたたく　　イ：物を使ってたたく　　ウ：物をぶつける
エ：蹴る　　オ：転倒させる　　カ：踏みつける
キ：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問10】

いつ体罰を受けました（見ました）か。次の中からあてはまるものを選んでください。

（複数回答ができます）

- ア：授業中　　イ：ホームルーム・学級活動　　ウ：放課後・休み時間
エ：学校行事　　オ：部活動
カ：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問11】

どこで体罰を受けました（見ました）か。 次の中からあてはまるものを選んでください。

ふくすうかいどう
(複数回答ができます)

- ア：教室
イ：職員室・準備室
ウ：児童・生徒指導室
エ：グラウンド
オ：体育館・武道場
カ：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問12】

体罰の被害状況はどうでしたか。 次の中からあてはまるものを選んでください。

ふくすうかいどう
(複数回答ができます)

- ア：特にケガはなし
イ：骨折・ねんざ
ウ：鼓膜損傷
エ：外傷（切り傷、すり傷）
オ：打撲（頭・顔・足など）
カ：鼻血
キ：髪を切られる
ク：その他（具体的に記入してください。）

しつもん
【質問13】

体罰をした人の名前（教科名・学級名・部活動名など）、体罰の時期、その他体罰の具体的な内容を記入してください。

体罰を見た場合は、被害を受けた児童・生徒の名前なども記入してください。

（記入した内容について、県教育委員会から至急連絡をしてほしい場合には、電話番号などの連絡先も記入してください。）

しつもん
【質問14】

ほごしや たいばつ けんきょういくいいんかい つた きにゆう
保護者のみなさまで、体罰について県教育委員会に伝えたいことがありましたら、記入してください。

きにゆう ないよう けんきょういくいいんかい しきゅうれんらく ばあい でんわばんごう
(記入した内容について、県教育委員会から至急連絡をしてほしい場合には、電話番号などの
れんらくさき きにゆう
連絡先も記入してください。)

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。

といあわ さき
【問合せ先】

かながわけんきょういくいいんかい きょういくきょくしえんぶ がっこうしえんか
神奈川県教育委員会 教育局支援部 学校支援課
でんわ ちよくつう
電話 (045)210-8230 (直通)

令和4年12月

教職員のみなさんへ

神奈川県教育委員会

令和4年度 学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査について

この調査は、県立学校における教職員などによる体罰の防止に向けた取組を進めることを目的に実施します。学校における体罰を根絶するために、実態を明らかにし、再発防止に資するという趣旨を理解の上、協力をお願いします。

本調査用紙は、令和5年1月13日（金）までに、校長に直接提出してください。

氏名 _____

- 1 あなたは、今年度（令和4年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、児童・生徒に対して体罰、あるいは児童・生徒から体罰ではないかと受け止められる行為をしたことがありますか。次のいずれかに○をつけてください。

ただし、既に体罰による懲戒処分等を教育委員会から受けているものは除きます。

（ はい ・ いいえ ）

- 2 「はい」と答えた場合は、どのような行為であったかを、次の表の項目に沿って具体的に記入してください。

複数回ある場合はそのすべてを記入してください。

いつ	
どこで	
誰に	
どのような行為を行った	

（裏面に続く）

- 3 あなたは、今年度（令和4年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、自分以外の教職員等による、児童・生徒に対しての体罰、あるいは児童・生徒から体罰ではないかと受け止められる行為を見たことがありますか。次のいずれかに○をつけてください。

（ はい ・ いいえ ）

- 4 「はい」と答えた場合は、どのような行為であったかを、次の表の項目に沿って具体的に記入してください。

複数回ある場合はそのすべてを記入してください。

いつ	
どこで	
誰が	
誰に	
どのような 行為を行った	

児童・生徒及び保護者のみなさまへ

() 教育委員会

令和4年度 学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査のお願い

今、体罰を受け困っているみなさんは、ひとりで悩まず相談できる人に相談をしてください。まずは、自分の学校に相談をしてください。

また、次の機関でも相談を受け付けています。

- () 教育委員会 () 課 連絡先〇〇〇
● () 教育センター 教育相談 連絡先〇〇〇

市町村ごとに記載

この調査は、学校における教職員などによる体罰の防止に向けた取組を進めることを目的に実施します。

児童・生徒のみなさんから、体罰の被害の状況などをお聞きして、今後の取組に役立てていきたいと考えています。体罰を防止するために御協力ください。

回答の結果は、調査の目的以外では利用しません。個人情報などについては、秘密を守りますので、体罰を受けたり、見たりしたことがある場合には、事実を記入してください。

ただし、実際にあった体罰にしっかりと対応するため、場合によっては、お話をお聞きするなど御協力をお願いすることがあります。

◎ 調査に回答するとき気をつけてほしいこと

- ※ 回答は、学校ではなく、自宅などで記入してください。
※ 令和4年4月1日からこれまでの学校生活での出来事について、回答できる範囲で回答してください。
※ 回答はすべて、別紙の回答用紙に記入してください。記入方法は、あてはまる記号などに○をつけてください。また、答えられる範囲で具体的に記入してください。
※ 学年と学校名は、必ず記入してください。氏名は書かなくても構いません。
※ 体罰を受けたり、見たりしたことがある場合は、教員などの氏名や部活動名・教科名・時期などを含め、質問4の欄に具体的に記入してください。
※ 回答用紙への記入が終わったら、一緒に配られた封筒を使って、〇月〇日(〇)までにポストに入れてください。なお、学校に提出しても構いませんが、その場合には必ず教頭先生に直接提出してください。提出された回答用紙は、学校では開封せずに教育委員会に提出されます。
※ 根拠のない噂や悪口ではなく、事実を記入してください。
※ 保護者のみなさまは、体罰について教育委員会に伝えておきたいことなどがありましたら、質問5の欄に記入してください。
※ 体罰を受けたり、見たりしたことがなく、質問5の保護者記入欄が無回答の場合は、回答用紙を提出する必要はありません。

市町村ごとに記載

市町村ごとに記載

【質問 1】

がっこうせいいかつ たいばつ つぎ なか えら ふうすう
 学校生活での体罰について、次の中からあてはまるものを選んでください（Ⅰ、Ⅱの複数
 かいどう
 回答ができます）。

- Ⅰ：自分自身が体罰を受けた ⇒ 質問 2・質問 4・質問 5 に進んでください。
 Ⅱ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た ⇒ 質問 3・質問 4・質問 5 に進んでください。
 Ⅲ：体罰を受けていないし、体罰を見たこともない
 ⇒ 児童・生徒の質問は終了です。保護者の方は、質問 5 に進んでください。

【質問 2】

(1) 質問 1 で「Ⅰ：自分自身が体罰を受けた」と答えた人にお聞きします。

それはどのようなものでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答
 ができます）。

- ア：素手で殴る イ：棒などで殴る ウ：蹴る
 エ：投げる・転倒させる オ：殴る及び蹴る等
 カ：その他（質問 4 の欄に具体的に記入してください。）

(2) その体罰は、誰から受けましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでくださ
 い（複数回答ができます）。

- ア：教科担当の先生 イ：学級担任の先生
 ウ：部活動の顧問の先生 エ：部活動の外部指導者（部活動の顧問の先生以外）
 オ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

(3) その体罰は、いつ受けましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでくださ
 い（複数回答ができます）。

- ア：授業中 イ：放課後 ウ：休み時間
 エ：部活動 オ：学校行事 カ：ホームルーム・学級活動
 キ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

(4) その体罰は、どこで受けましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでくださ
 い（複数回答ができます）。

- ア：教室 イ：職員室 ウ：運動場・体育館
 エ：児童・生徒指導室 オ：廊下・階段
 カ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

(5) その体罰の被害状況はどうでしたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：特にケガなし イ：骨折・捻挫など ウ：鼓膜損傷
 エ：外傷 オ：打撲（頭） カ：打撲（顔）
 キ：打撲（足） ク：打撲（オ～キ以外） ケ：鼻血
 コ：髪を切られる サ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

※ その体罰のさらに詳しい状況を質問4の欄に記入してください。

【質問3】

(1) 質問1で「Ⅱ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た」と答えた人にお聞きします。それはどのようなものでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：素手で殴る イ：棒などで殴る ウ：蹴る
 エ：投げる・転倒させる オ：殴る及び蹴る等
 カ：その他（質問4の欄に具体的に記入してください。）

(2) その体罰は、誰が行ったものですか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：教科担当の先生 イ：学級担任の先生
 ウ：部活動の顧問の先生 エ：部活動の外部指導者（部活動の顧問の先生以外）
 オ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

(3) その体罰は、いつ行われましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：授業中 イ：放課後 ウ：休み時間
 エ：部活動 オ：学校行事 カ：ホームルーム・学級活動
 キ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

(4) その体罰は、どこで行われましたか。それぞれ次の中からあてはまるものを選んでください（複数回答ができます）。

- ア：教室 イ：職員室 ウ：運動場・体育館
 エ：児童・生徒指導室 オ：廊下・階段
 カ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）

※ その体罰のさらに詳しい状況を質問4の欄に記入してください。

【質問4】

質問1で「Ⅰ：自分自身が体罰を受けた」と答えた人と「Ⅱ：他の児童・生徒が体罰を受けたのを見た」と答えた人にお聞きします。体罰を行った教員などの氏名や部活動名・教科名・時期などを含め、具体的に記入してください。

【質問5】

保護者のみなさまにお聞きします。体罰について、教育委員会に伝えたいことがありましたら、記入してください。

※ 質問4・質問5の内容について、教育委員会から至急連絡をしてほしい場合は、回答用紙の質問5の欄に連絡先を記入してください。

※ 体罰を受けたり、見たりしたことがなく、質問5の保護者記入欄が無回答の場合は、回答用紙を提出する必要はありません。

市町村ごとに記載

ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】

() 教育委員会 () 課 電話 (000) 000-0000 (直通)

市町村ごとに記載

令和4年度 学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査

回答用紙

あてはまる記号などに○をつけ、答えられる範囲で具体的に記入してください。

※ I、IIの複数回答ができます

質問1	I	→ 学校名と学年を書き(氏名は書かなくても構いません) 質問2・質問4・質問5に進んでください
	II	→ 学校名と学年を書き(氏名は書かなくても構いません) 質問3・質問4・質問5に進んでください
	III	→ 児童・生徒の質問は終了です。(保護者の方は質問5へ) (質問5も無回答の場合は回答用紙の返送は不要です)

市町村ごとに記載

質問1で「I」か「II」(または両方)と回答した方および質問5に保護者が記載する場合は、

学校名と学年は必ず記入し、回答を続けてください。氏名は書かなくても構いません。

学校名	学校	学年	年(年次)生
課程など	全日制・定時制・通信制 小学部・中学部・高等部		
氏名		性別	男・女

小中学校向けでは削除

※複数回答ができます

質問2	(1)	ア イ ウ エ オ カ
	(2)	ア イ ウ エ オ → ()
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ → ()
	(4)	ア イ ウ エ オ カ → ()
	(5)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ → ()
質問3	(1)	ア イ ウ エ オ カ
	(2)	ア イ ウ エ オ → ()
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ → ()
	(4)	ア イ ウ エ オ カ → ()
質問4		
質問5		

体罰を受けたり、見たりしたことがなく、質問5の保護者記入欄が無回答の場合は、回答用紙を返送する必要はありません。

市町村ごとに記載

令和4年12月 日

教職員のみなさまへ

神奈川県教育委員会

令和4年度 学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査について

この調査は、県立学校における教職員などによる体罰の防止に向けた取組を進めることを目的に実施します。学校における体罰を根絶するために、実態を明らかにし、再発防止に資するという趣旨を理解の上、協力をお願いします。

本調査用紙は、令和5年〇月〇日（〇）までに、校長に直接提出してください。

氏名 _____

- 1 あなたは、今年度（令和4年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、児童・生徒に対して体罰、あるいは児童・生徒から体罰ではないかと受け止められる行為をしたことがありますか。次のいずれかに○をつけてください。

ただし、既に体罰による懲戒処分等を教育委員会から受けているものは除きます。

（ はい ・ いいえ ） →→→ 「はい」の場合は2へ

- 2 「はい」と答えた場合は、どのような行為であったかを、次の表の項目に沿って具体的に記入してください。

複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	
どこで	
誰に	
どのような行為を行った	

（裏面に続く）

- 3 あなたは、今年度（令和4年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、自分以外の教職員等による、児童・生徒に対しての体罰、あるいは児童・生徒から体罰ではないかと受け止められる行為を見たことがありますか。次のいずれかに○をつけてください。

（ はい ・ いいえ ） →→→ 「はい」の場合は4へ

- 4 「はい」と答えた場合は、どのような行為であったかを、次の表の項目に沿って具体的に記入してください。

複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	
どこで	
誰が	
誰に	
どのような行為を行った	